

ふぁみ・さぽミニ通信

津山ファミリー・サポート・センターは、平成 12 年 11 月開設以来 15 年が経過しました。

この間、依頼会員の皆さんは、提供会員に子どもを預ける安心感や信頼感を持ってファミ・サポを利用され、提供会員の皆さんは豊かなボランティア精神を持って多くの子育て世帯を支援してきてくださいました。これも会員の皆様のご理解とご協力の賜物と感謝しております。

今後、ファミ・サポ事業がさらに充実した子育て支援となりますよう努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

行事報告

平成 27 年 6 月 10 日
提供会員地区別交流会（西地区）

西地区のサブ・リーダーが中心となって、佐良山公民館で交流茶話会を開催しました。会員以外の参加者からファミ・サポについての質問が出て、話題が広がりました。



私たちが一緒に考えられてよかったわ。

講師 竹内昌彦さん
岡山県立岡山盲学校講師



見えないから見えたものがあるのです。

7 月 26 日 < 共催講演会 >
ひと・ふれあい講演会

「私の歩んだ道」と題した講演をリージョンセンターで聴きました。会場いっぱいの受講者は、前向きに生きてこられた先生のお話に元気をもらいました。

できたら、おいしいコーヒーをいれたいわ。

8 月 5 日 < 提供会員交流会 >
初心者でもできる 土ひねり

陶芸に関心のある会員や市民が思い思いに皿やコーヒーカップなどを作りました。「童心に返って楽しかった！」との声も聞かれました。最後に、お茶を飲みながら会員の体験談も聞きました。



講師 花岡勉さん
勝北陶芸の里指導員

思い切ってねじるといいですよ。

講師 山本政巳さん
バルーンアーティスト



10 月 18 日 「さん・さん祭り 2015」
きてみてつくって！バルーンアート

前半は、バルーンアーティストの方の鮮やかなパフォーマンスを見て楽しみました。

後半は、参加者もバルーンアートに挑戦です。まず、風船を折ったり、ねじったりすることに慣れてから、目や耳などの細かな部品づくりに苦戦しながらかわいいキャラクターの犬を完成させました。バルーンのお土産をたくさんもらって子どもたちは大喜びで帰りました。

子育てサポート講習会 報告

「支援の必要な子どもの理解と関わり方」

平成 27 年 5 月 24 日



講師 吉田 英生さん

(津山市特別支援教育推進センター所長・津山市立北小学校副校長)

内容

講演の最初にだまし絵を見て、人によって見え方や感じ方に違いがあることを再認識しました。人には違いがあることを認識し、一人一人の子どもが感じていることをわかろうとする姿勢が大切で、特別な支援を必要とする子どもにもそれぞれ違いがあるので、その子どもに合った関わりが必要であることを理解しました。

その後、発達障害(自閉症スペクトラム・学習障害・AD/HDなど)のある子どもの対人関係・社会性、コミュニケーションに見られる特性や状態について学びました。

続いて、親や周囲の大人が感じる困難さを和らげるための「関わり方」については、主に下のような具体的なお話がありました。

- ・関わりを変えるヒントとなる言葉、例えばほめる時に「おいしい」「さすが」「○○のおかげで」「うれしいわ(大好き)」などを言える大人であることが大切である。
- ・子どもの失敗を注意する時には、次にどうしたらよいか、見通しを立てやすくするための方法も同時に教えてやるとよい。例えば、シートベルトをしなかったり、勝手に外したりする子どもに注意するならば、上手にシートベルトを締める要領も同時に教えるといったことが大切である。

さらに、障害のある子どもは、「理解と支援が必要とされる子ども」であることを念頭に、能力や障害の状況だけでなく、周りの受け止め方や関わり方、子どもの気持ちのあり方などの視点も関わる上では大切だ、とのお話でした。また、吉田先生から子育てのヒントワードとして「やって見せ、言って聞かせて+見せてやり、やらせてみ、ほめてやったら子どもは育つ」「ちょっと変わればずいぶん変わる。」というメッセージがありました。

一人の子どもの状況を十分理解したうえで、その子どもに合った関わりがうまくできれば、子ども自身も心地良い生活がしやすく、親や周囲の大人もストレスなく接することができるようです。

「受講者の感想」

・誰に対しても通じる支援について学べました。本人の能力は変わらなくても、支援のしかたにより本人の心も軽く、ストレスも無くなることがわかりました。顔の見える支援を心掛けたいと思います。

・わが子への接し方について、親の関わり方を変えることで、子どもの不安を和らげ、できることが増え成長していけると分かり勉強になりました。

「保育の心」「子どもの遊び」

平成 27 年 9 月 9 日

講師 豊岡 万智子さん

(勝北風の子こども園園長補佐)



内容

「保育の心」

「地域でのよき子育てパートナーとしてサポート活動をするためには、子どもや保護者との信頼関係が重要である。信頼関係を築くキーワードは、「観察」と「共感」と「納得」である。良かれと思ってすることが押し付けにならないよう、自主的に動けるように支えることが大切。また、サポート活動は責任も大きいですが、頼られる喜びを感じるなど得られることも多い。」など、長年の保育士としての経験を具体的に交えながらお話しいただきました。

「子どもの遊び」

「子どもは、楽しみながらいろいろなことを経験して育っていく。大人の役割は、安全な環境を準備して、共感しながら見守ること。」と前置きがあり、実習では、触れ合い遊び・絵本の読み聞かせ・折り紙・風車の制作などを学びました。



「受講者の感想」

・細やかなサポートの情報を丁寧にお話いただいたと思います。

・責任の重さを感じました。

・預かる子どもさんの情報を保護者からよく聞いておくことが必要ですね。

・初めての参加でいろいろと勉強させていただきました。また、次回も参加したいです。

・お話を参考にし、預かった時事をそのまま伝え親と共感したり、危なくないように目を届かせるよう心掛けたいです。

食育シリーズ 第1弾！！



若い世代や子どもたちにも大人気！！

『洋風おせち』はいかが？！

あと約1ヶ月でお正月ですね。お正月といえば「おせち料理」。わが家は、毎年実家に親戚が集まって、おせち料理を食べるのですが、昔からの伝統的なおせちは母や義母が作り、私は洋風・現代風おせちを担当しています。今まで作ってきた中で特に好評なものを紹介します。作ってみて下さいね。

うずら卵の肉巻き（南蛮漬け）

【材 料】4人分

うずら（水煮）... 8個
豚うす切り肉... 8枚
味付けのり... 8枚
小麦粉... 適量
しょうゆ、みりん、酢... 各30cc
酒... 大さじ1
砂糖... 大さじ1
おろししょうが... 少々
だし汁... 30cc
揚げ油... 適量

【作り方】

①の南蛮漬けの材料を全て小鍋に入れて火にかけ、沸騰したら火を止めて、バット等に入れる。
豚肉を広げてのりをのせ、うずらをのせて、くるくると巻き、両端も折り込む。小麦粉をまんべんなく振る。
折り畳んだところを下にして、フライパンに油を5cmほど入れて、きつね色になるまで揚げる。
の漬け汁に入れて、味をしみ込ませる。
（3時間～漬けるとおいしいです）

半分に切ると竜の眼に見えて、縁起がいいのです。
冷蔵庫に入れておけば、日持ちします。

洋風エビの丸焼き

【材 料】4人分

頭付きエビ... 10尾
ニンニク... 1かけ
マヨネーズ... 大さじ2
塩・こしょう... 少々

【作り方】

エビは背中から尾に向かって、半分ぐらいまではさみで切り、背わたを取る。
きれいに洗い、キッチンペーパーで水気を拭き、クッキングシートを敷いた天板に並べる。
んにくをみじん切りにしてマヨネーズと塩・こしょうを混ぜる。
をのエビにかけ、オーブンで200℃で約10分焼く。

りんごきんとん

【材 料】4人分

りんご 1個
さとう 40g
さつまいも 300g
塩 少々

【作り方】

りんごは皮のきれいな部分を残して適当に皮をむき、1.5cm角に切り、さとうを加えて、やわらかくなるまで煮る。
（水を入れなくてもりんごの水分が出てくるのでOK）
さつまいもは2mmの厚さの輪切りにして、皮をむき、水にさらす。
やわらかくゆでて、ゆで汁を少し残して鍋の中でつぶす。
（裏ごしするとなめらかに仕上がります）
に、さとう・塩・水・みりんを加えて、火にかけてながら練り上げて、最後に のりんごを汁ごと混ぜ合わせる。



はじめまして。今回より、このコーナーを担当することになりました、山本弥生です。国分寺在住で、2年生の男の子と年長の女の子がいます。ファミサポでは、両方会員でお世話になっています。
以前、食に関する仕事をしていたので、『食』にまつわる情報やレシピなどをお届けできたらと思っています。よろしくお願いします。

お知らせ

クリスマス交流会

日時：12月19日(土) 10:30~12:00

会場：アルネ・津山5階「さん・さん」

参加費：1人100円

申し込み締め切り：12月12日(土)

内容

- ・人形劇「オオカミと7匹の子ヤギ」と
トーンチャイム演奏 他
(人形劇サークル「くれよん」)
- ・インドネシア舞踊(依頼会員北野フィニさん他)
- ・サンタさんからのプレゼント

子育てサポート講習会

日時：平成28年1月20日(水)

10:30~12:30

会場：アルネ・津山5階「さん・さん」

申し込み締め切り：1月18日(月)

内容

「子どものせわ」

講師：津山市健康増進課の保健師

「チャイルドシートの安全な使い方」

講師：JAF岡山支部の職員

アドバイザーの ふあみばなし

今回は、
「依頼会員と提供会員との
橋渡し」について

私たちアドバイザーは、依頼会員から申し込みが入ったら、いろいろなことを考慮して、サポートのできる人を考えるのだけど、紹介しようと思えば「顔合わせ」を行って、サポートに備えるわけなのよね。

② 急なサポートが必要な人、定期的に頼みたい人、万に備えて登録しておくという人など、内容や利用の頻度はまちまちなので、一人の依頼会員に対してペアになっていただく提供会員の人数が違うのよね。

先日、急に残業が入りサポートが必要になった依頼会員から、サポートの申し込みが入ったのだけれど、顔合わせをしていた3人全員の都合が悪くてあわてたことがあったわね。

⑥ 提供会員は、普段の生活の中で空いた時間にサポートをするということが基本なので、急な依頼の時に用事や外出でサポートができないということもあるのね。
私たちは、このことを皆さんに理解していただきながら依頼が入ったときにできる限りサポートをしていただけだよ、調整していきたいわね。

両者が事前に電話で打ち合わせをして、提供会員が子どもさんを保育園に迎えに行ってくださいることになったのだったわね。でもその直後に、仕事の都合がつき、自分が迎えに行くことができると依頼会員から連絡が入って、結局サポートは必要なくなったのね。

④ 緊急対応で、「顔合わせ」をしていない提供会員2~3人の方に連絡をしたところ、そのうちのおひとりが、サポートが可能だとお返事くださったのでお願いしたの。ほっとしたわ。

お問合せ

津山ファミリー・サポート・センター

TEL: 31-8753

〒708-8520 津山新魚町17番地 アルネ・津山5階「さん・さん」内

<開館時間>月・水~金曜日 午前10時~午後7時 土・日曜日 午前10時~午後6時

<休館日>毎週火曜日・祝日・年末年始

会員数：1008人 依頼会員：533人 提供会員：387人 両方会員：88人(H27/10月末現在)